

三河商人道

PART
171

青年部とは 仲間、それが全て



【会社・仕事への思い】

最初は、父親が起こされた運送と林業を含む会社を手伝うつもりで入ったので、後を継ぐつもりも無く、夜は夜で化粧品の販売などもしながらいろいろな仲間も作り、そして夢でもあったパイロットになるという思いを基に26歳の時に単身渡米までしてしまって池野さん。今日に至るのは、渡米中に日本で父親が倒れてしまった事が転機の様です。林業を知る人間として、2代目になる事を決意。林業の中でも森林整備に特化して山を守るキコリの池野さんと呼ばれる今があるようです。パイロットが気になるようですが、池野さんはヘリコプターのライセンスもお持ちの様です。

【青年部に入会されたきっかけ】

18年前に友人である柴田輝彦さんと共に、ひとまわり仕事を大きくしたいとの思いで団体に所属しようと思ったことが、商工会議所青年部に入会したきっかけです。入会後は、仕事についても先輩方からいろいろなアドバイスを受けられるようになった事は、本当に良かったとおっしゃっています。池野さん自身“人がまわる、仕事がまわる、お金がまわる”をモットーに、仲間を大事にされているようです。

【思い出に残る青年部活動】

卒業生を送る会のオープニングで披露する為に練習に励んだ太鼓、城下町フェスタの時担当した、アトラクションの人力車を引いた事、愛知産業大学の学生とコラボして、祭の神輿を制作して披露した事だそうです。何かしら祭のにおいのする池野さんですね！！

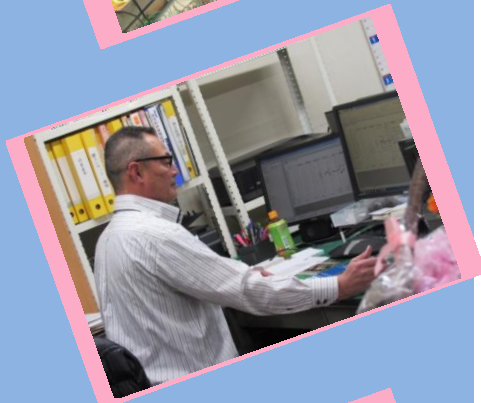
【趣味など】

過去に、工作中 20mの高さより山の斜面に転落した事があり、その時背骨の圧迫骨折、脚の複雑骨折を経験し、激しいスポーツから遠ざかっていたところに、5, 6年前から始めたゴルフが楽しく現在 1番の趣味になっているそうです。

【青年部とは・・・】

「青年部とは 仲間」それが全てとおっしゃる池野さん。

仲間はプラスしかない。マイナスなことはない。



取材担当/
人財育成委員会
飯田光明、神尾俊陽、
河合尚人、近藤孝祐、
柴田泰和、菅井竜二、
安藤暁、岡田隆治、
栗村勇成、加藤浩晃、
塩田篤志、中根邦博、
藤井浩久、山本哲生

